

ルへ。

五月八日 日曜日

屋上菜園に小さな風除けの木のサクを作り、瓦を動かし、西南のコーナーの畑を充実させる。下の畑にお茶の小木を植え込む。

五月九日

六時半起床。CEMA計画で台北の李祖原事務所へ。

十一時半EG二〇三便で台北へ。十四時過台北着、李祖原氏空港まで迎えに来る。台北は梅雨に入り強い雨。台北一〇一問近のグランドハイアット台北にチェックイン。すぐに李祖原事務所へ。CEMA打合わせ。ソーラーエアーシップの案は中国政府の許可が得られなかった。残念。又、別の案を案出しなくては。アドバタイジングのビジネスモデル作りに、良いプランが浮かび上がる。若松氏提案のもの。夕食は前の李祖原事務所があつたビルの地下で。二十三時前ホテルに帰着。

五月十日

十時李祖原ホテルにてピックアップ。事務所へ。打合わせ。十一時半昼食。若松氏空港へ。十三時過シャープ富田氏と李祖原事務所であつ。CEMAミーティング。富田氏台北一〇一見学。一〇一オーナーと会う。十五時過富田氏空港へ。十六時李祖原事務所までCP・王に再会後、所員に小レクチャー。李祖原の建築のこれから。友人だから、かなり厳しい事も言わざるを得なかった。十九時修了。質疑応答が続いた。二十一時過夕食をすませてホテ

五月十一日

七時半起床。昨夜は、流石に疲れて良く眠った。今度の訪台では古い友人にも再会できて良かった。皆それぞれに年をとりながらそれなりにやっているようだ。

私と李祖原は全く違うタイプの建築家だが、どうやらこの男が友人の中では一番頑固者だな。何言っても全く変わらないんだから。ホテルの窓から、隣りにそそり立つ五百八メートルの一〇一ビルを見上げながら、つくづくそう思う。

十時過ホテル発。十時半前李祖原事務所。CEMA打合わせ。

十一時半昼食。十三時迄。ズーツと建築の話し。何をどう言っても彼は自論を曲げない。そうだろうな。桃園空港十四時前着。チェックインしてラウンジで休む。今、十四時二〇分くらいだろうか。時計を持たぬ、ケイタイを持たぬと仲々、不思議な浮遊感の中に送り込まれる。十六時前EG二〇六便は水平飛行に移り、梅雨の空を抜け日本に向けて飛んでいる。北京CEMAで試みようとしているのは、電子建築の可能性への試みだ。全ての建築は例えそれがハイテクスタイルと呼ばれようとも、どうしようもなくローテクの産物である。現代の技術的成果の精華をそこに眼に見える形で注入する事は困難である。建築の本体はローテクの集積で良い。しかし、今迄とは違う方法で、そのスタイルにも一つ別の体系の、インヴェジブルなハイテクスタイルをモニターシユ出来ないかがCEMAの研究課題である。面白い命題である。何とか糸口を見つけない。機中で北京に持ってゆく案をまとめる。明日から五日間で、この案を作図させてモデルを作らせよう。何とかなるかもしれない。アト三〇分でNRT着、十九時NRT着。

二十一時半過世田谷村歸着。